

第1節 全体目標

宮城の新・将来ビジョンにおける取組「生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供」では、「県民一人ひとりが、地域や職場等で心身の健康づくりに無理なく取り組める環境が整うことで、望ましい生活習慣を身に付け、より長く元気に活躍している」と、「良質な医療が適切に提供される体制が確立し、医療に対する安心と信頼が確保され、県民の命と健康が守られている」ことを「目指す宮城の姿」としています。

この姿を実現するため、本計画では、第3期計画の目標である「がんの克服」を引き続きの目標とした上で、がん患者を含めた県民が、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、誰もが、いつでも、どこに居ても、様々ながんの病態に応じた、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って暮らしていくことができるよう、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とともにがんの克服と共生を目指す。」を全体目標とします。

その実現に向けて、全体目標の下に、「がん予防」、「がん医療」及び「がんとの共生」の分野別目標を定め、これらの3本の柱に沿った総合的ながん対策を推進します。

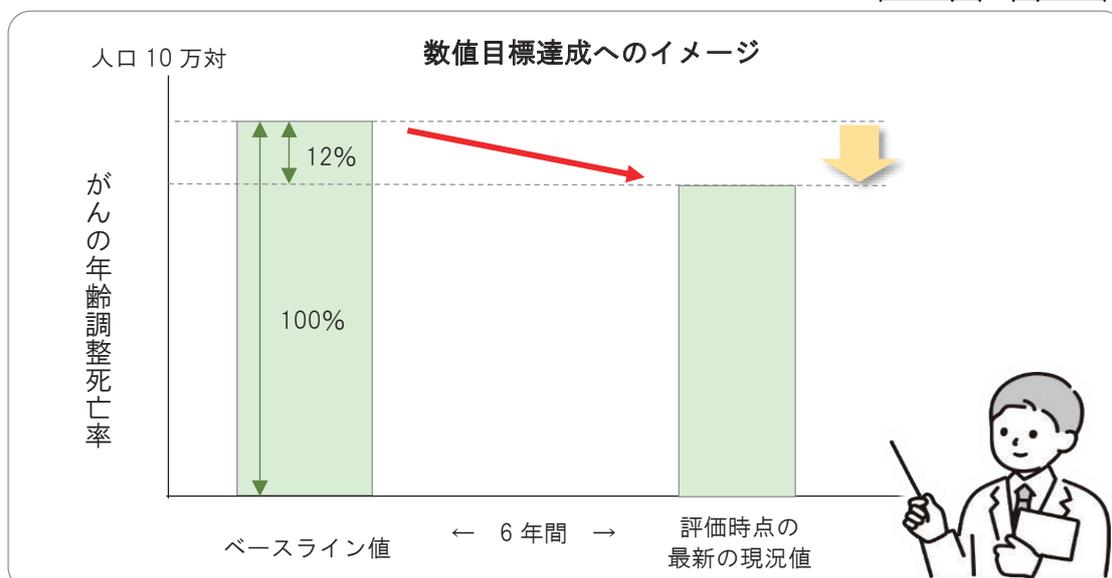
また、第4期の全体目標では、医学・医療の進歩とがん対策の一層の充実に伴い（第3期では年2%減少を数値目標の根拠として実現できたことから）、2%程度の減少は期待できるとの予想から、今後6年間で、がんの年齢調整死亡率（75歳未満）を12%減少させることを数値目標とし、合わせて、全国平均を上回ることを、都道府県順位を上げることを目標とします。

宮城県の全体目標

誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とともにがんの克服と共生を目指す

数値目標

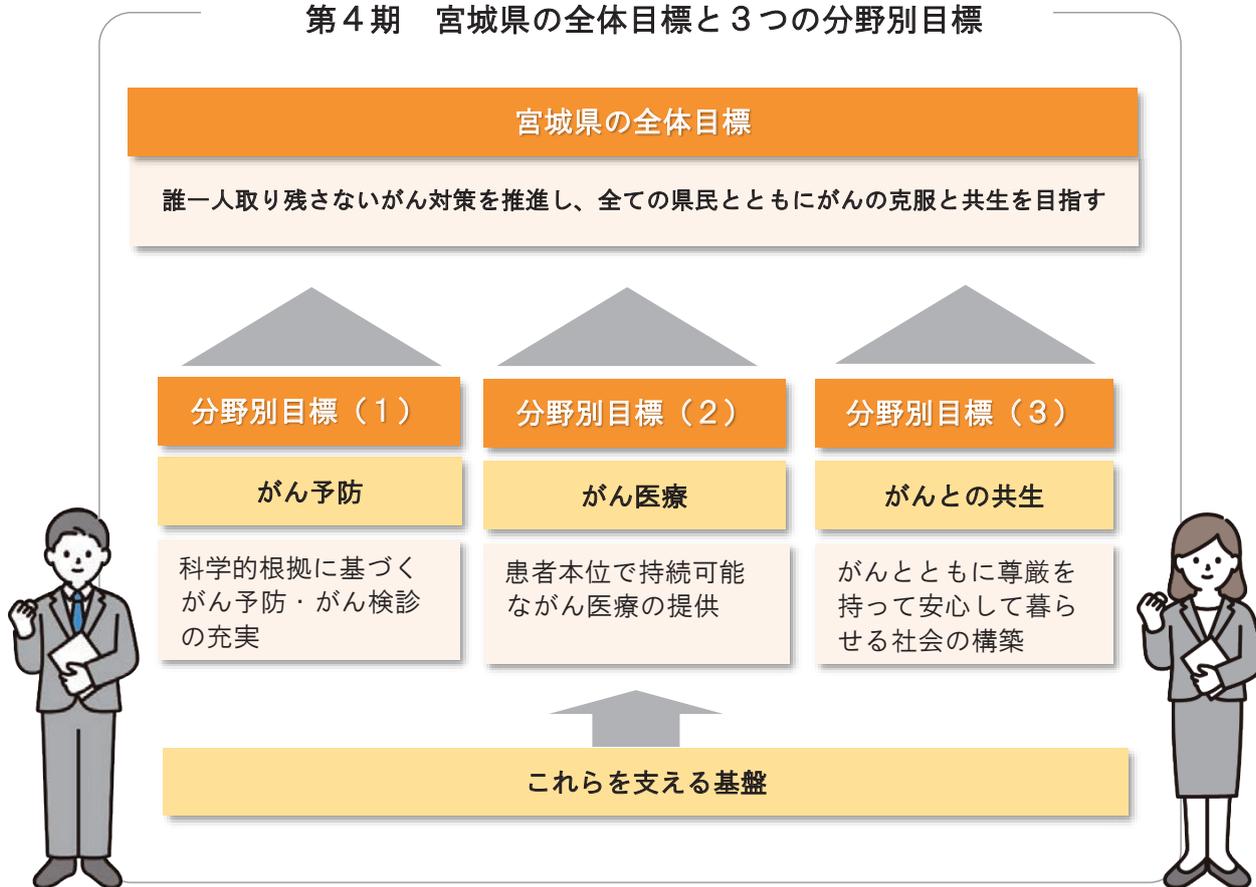
6年間で、がんの年齢調整死亡率（75歳未満）を12%減少



第2節 分野別目標



第4期 宮城県の全体目標と3つの分野別目標



（参考）第1期から第3期までの全体目標

第1期 （平成19年～）	<ol style="list-style-type: none"> 1. がんにより死亡する人の減少 2. すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上
第2期 （平成24年～）	<ol style="list-style-type: none"> 1. がんにより死亡する人の減少 2. すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上 3. がんになっても自分らしく暮らせる社会の構築
第3期 （平成29年～）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 2. 患者本位のがん医療の実現 3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

分野別目標（1）



【がん予防】 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

がんを予防する方法を普及啓発するとともに、研究を推進し、その結果に基づいた施策を実施することにより、がんの罹患率が減少、全国平均を下回ることを目指します。

県民が利用しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見・早期治療を促すことで、効率的かつ持続可能ながん対策を進め、がんの死亡率が減少、全国平均を下回ることを目指します。

分野別目標（2）



【がん医療】 患者本位で持続可能ながん医療の提供

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

がんゲノム医療をはじめとした高度ながん医療の提供を推進するとともに、患者本位のがん医療を展開することで、がん医療の質を向上させ、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化・集約化を進め、効率的かつ持続可能ながん医療を提供することで、がん生存率を向上させ、がん死亡率が減少し、全国平均より改善することを目指します。

さらに、支持療法や緩和ケアが適切に提供される体制を整備することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質が向上することを目指します。

分野別目標（3）



【がんとの共生】 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

がん患者やその家族等が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備し、関係者等は、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や、就労・教育支援等を行う仕組みを構築することで、社会的な課題を解決し、がん患者及びその家族等の「全人的な苦痛」の緩和を図り、いつでもどこに居ても、安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現し、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質を向上することを目指します。